

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S35	施策名	総合計画の推進
担当部課	市長公室企画政策課	関係部課	全課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	—
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市みんなで作るまち条例、長久手市総合計画審議会条例
施策開始の背景、経緯等	総合計画については、地方自治法による法的な策定根拠はなくなったが、まちづくりの課題は多様化しており、従来以上に総合かつ計画的に市政運営を図ることの重要性が高まっていることから、継続して総合計画を策定していくこととし、2018年7月に施行した「長久手市みんなで作るまち条例」に策定根拠と議決要件が明記された。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) ・総合的かつ計画的な行政運営を図るため、総合計画を策定し推進する。 ・多くの市民に関わっていただきながら、計画を策定し推進する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) ・市職員 ・市民
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 総合計画に基づき長期的視点に立って、事業を実施するとともに、市民と行政が協働する市民主体のまちづくりを目指す。 ・(市民)まちづくりの担い手として、意識を持ち、主体的にまちづくり活動に携わっていただく。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	第6次総合計画の策定・推進				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		アクションプラン(159事業)の進捗管理	アクションプランの進捗管理	アクションプランの見直し	アクションプランの進捗管理	アクションプランの進捗管理
		費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 10 人	(延べ) 10 人	(延べ) 15 人	(延べ) 20 人	(延べ) 30 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	市民まちづくり計画の策定				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		市民まちづくり計画の推進	市民まちづくり計画の推進	市民まちづくり計画の見直し	市民まちづくり計画の推進	市民まちづくり計画の推進
		費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)	費用・見込み(細々節名) (金額)
		市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 10 人	(延べ) 10 人	(延べ) 15 人	(延べ) 20 人	(延べ) 30 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 総合計画の基本構想実現のために、市民の取組をまとめた市民まちづくり計画では、チームごとに市民アクションを実施しており、例年であれば各市民アクションチーム等を集めた交流会を開催しているが、コロナ禍における感染拡大防止のため、開催を見送る等、様々な市民活動が制限され、計画に沿った市民活動の推進が難しい状況であった。 しかし、一部の市民アクションチームでは、市内大学と連携し、市制10周年記念事業の一つとしてスカイランタンの動画を作成・配信を行った。コロナ禍で活動が制限されるなか、イベントではなく動画配信を行うなど、工夫しながらコロナ禍でもできる活動を行うチームが見られる。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 従来の総合計画では、計画を推進していくのは行政としていたが、第6次総合計画では、「市民と行政が協働する市民主体のまち」実現のため、市民が基本構想実現のために取り組む内容をまとめた市民まちづくり計画を策定したものの、コロナ禍における活動自粛が求められ、終息の見通しが見えない中、市民参加者の見込みの人数についても暫定的な数値とし、感染症対策を行いながらの取組が求められる。アクションプランについて、行政評価と連動し毎年活動数値を把握することで、進捗管理を行う。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 市民アクションについては、コロナ禍により市民活動が制限され、市民活動を促進することは難しい状況であった。ただ、そのなかでも一部の市民アクションチームは活動がされていた。 市民が主体となったまちづくりの推進については、行政から積極的に働きかけを行うのではなく、市民自ら主体となって参加してもらうことを目的とし、市民とどのように関わっていくのか、繰り返し検証する必要がある。そのなかでも、コロナ禍で活動できていなかった市民アクションチームに再始動を促すことが課題である。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 総合計画により基本方針を定め、その目標に向かって市民の力も活用しながら進めているものの、コロナ禍による活動自粛の影響が懸念される。 総合計画は市全体の目標を定めるものであり、具体的な効果について示すことは難しいが、後期アクションプラン策定時に、5年に一度実施する市民意識調査で得られた成果指標の数値を基にして、基本構想・基本計画の実現に効果的な事業を選択し、市全体の効率化を図る。
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 市民まちづくり計画を認知し、積極的に関わる市民は、まだ一部の市民に限られている。市民まちづくり計画について多くの市民に知ってもらい関わってもらえるよう、働きかけを行う必要がある。
----	------------	---

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
	内部意見への回答	